

講習会「アルミニウム合金製制震ダンパーの実用化に向けてー現状と課題ー」

◆趣旨

制震ダンパーを既設橋梁内部に設置して制震橋梁化する耐震補強法が実用化されるようになってから10年余が経過し、現在では鋼橋の耐震補強法の主流になりつつあります。金属材料の塑性変形により地震エネルギーを吸収する履歴型制震ダンパーとして、座屈拘束ブレース ((BRB)とせん断パネルダンパー (SPD)が土木・建築制震構造では多用されています。素材としては主として鋼材が用いられていますが、アルミニウム合金 (AL)を適用する研究開発も近年行われるようになり、鋼製の性能に匹敵するAL製BRBも製作可能になってきています。しかし、実用化のために解決しなければならない課題もまだ存在致します。AL製制震ダンパー実用化検討小委員会では、平成26年4月1日から2年間、実用化に向けた現状と課題を抽出して調査研究活動を行って参りました。このたび、その成果であるテキストを用いて講習会を開催することになりました。参加費は無料ですので、多数の方の参加をお待ち致しております。

◆日時・会場・参加申し込み

日時：平成28年8月25日(木) 13:20-17:00 (受付は12時50分からです。)

会場：東京都中小企業振興公社 9F講堂 東京都中央区銀座2-10-18 (TEL:03-3542-0121)

場所は、<http://www.tokyo-kosha.or.jp/support/jigyoo/hall/chusho.html> に記載の地図をご覧ください。

定員：100名(申込先着順)

申込締切日：平成28年8月18日(木)【必着】

参加費：無料(テキストも無料)、要事前申込み

主催：一般社団法人 日本アルミニウム協会

申込方法：添付申込書に必要事項を記入し、FAXまたはE-mailに添付でお送り下さい。参加証をお送りします。

申し込み先：(一社)日本アルミニウム協会「アルミ制震ダンパー講習会」係(担当:川畑)

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目2番15号 塚本素山ビル (<http://www.aluminum.or.jp>)

電話:03(3538)0221 FAX:03(3538)0233

【E-mail: t-kawabata@alkyo.jp】

◆プログラム

- | | | |
|-------------|--|---------------------------------|
| 13:20-13:25 | 開会の挨拶 | 宇佐美勉(名城大学) |
| 13:25-13:45 | アルミニウム合金の適用に関する現状と課題 | |
| (1) | 異種金属接触腐食の回避方法 | 伊藤義人(岐阜高専) |
| 13:45-14:45 | 制震ダンパー構造に関する現状と課題 | |
| (2) | 座屈拘束ブレース(BRB)およびせん断パネルダンパー (SPD) | 宇佐美勉(名城大学) |
| (3) | ペローズダンパー | 頭井 洋(摂南大学) |
| (4) | 木造建物向け制震ダンパーと橋梁への適用の可能性 | 斉藤栄徳(日軽金アクト) |
| 14:45-15:25 | 制震ダンパーの設置方法および接合方法に関する現状と課題 | |
| (5) | BRBおよびSPDの取り付け構造 | 渡辺孝一(名城大学) |
| (6) | 接着接合とスタッドジベル支圧接合の混合継手 | 石川敏之(関西大学) |
| 15:25-15:40 | 休憩 | |
| 15:40-16:40 | 制震部材の適用に向けた設計に関する現状と課題 | |
| (7) | 補強材(拘束材)を用いた既設部材の制震部材化 | 田崎賢治(大日本コンサルタント) |
| (8) | RC床版をアルミニウム床版に置き換え、アルミニウム製制震ダンパーを付与した制震橋 | 野中 哲也(名古屋工業大学) |
| (9) | 実施例 | 谷中聡久(横河ブリッジ), 舟山淳起(八千代エンジニアリング) |
| 16:40-17:00 | 質疑応答/閉会の挨拶 | 葛西 昭(熊本大学) |